

## 久が原南自治会 防災訓練スケジュール

時 間	訓 練 項 目	訓 練 内 容	備 考
8 : 3 0	災 害 発 生	各自、家庭にて火の元を確認する。	
9 : 0 0	開 会	1. 隣接の公園に集合する。 2. 挨拶 本部長（自治会長）、久が原特別出張所長 3. スケジュール説明（副本部長）	無線放送を使用して広報する。
9 : 1 0 (50分)	要援護者対応訓練 (デモンストレーション)	災害時要援護者の安否確認及び避難所への搬送訓練を見せる。 1. 防災グッズ（さわやかサポート）の説明（10分） 2. 自治会本部（仮設テント）に自治会役員や民生委員が集まったとの想定で災害時要援護者の安否確認訓練を実施する。 3. 自治会役員が安否確認し、会長と民生委員に報告する。 4. 災害時要援護者を一時避難所へ搬送する訓練を実施する。 自治会役員・中学生・住民で搬送訓練 5. 担架の説明をする。	避難が必要な要援護者(仮想の傷病者)を要援護者マップ及び民生委員の情報に基づき確認し、住民が協力して一時避難所へ搬送する。
10 : 0 0 (70分)	各コーナー別訓練	1. ガス復旧の方法、煙体験、炊き出しコーナーを通過して移動する。(10分) 2. ローテーション訓練 ① 119番通報 (10分) ② 初期消火訓練 (10分) ③ 起震車体験 (10分) ←地震の写真も見せる。 3. AEDを使用した救命手当て訓練を実施する。(30分)	① ② ③は3つの班に分かれてローテーションする。
11 : 1 0 (30分)	放 水 訓 練	1. 市民消防隊によるミニポンプとC級ポンプの放水 2. 消防署、消防団指導によるスタンドパイプの説明及び放水。参加中学生（大森十中生）の放水。 3. バケツリレー	9 : 0 0までに放水用水槽を設置し水を貯めておく。
11 : 4 0	講 評	田園調布消防署久が原出張所長	
	閉 会	挨拶（自治会長）	
	配 給	非常食、防災グッズを配給する。	炊き出しは9 : 0 0より準備。 10 : 3 0に配給準備する。
12 : 0 0	訓 練 終 了	訓練終了後、後片付け。解散	

## 要援護者対応訓練（デモンストレーション）の流れ

〔訓練時間 9:10～10:00〕

※この「要援護者対応訓練」の部分は 副会長が進行する。 副会長からマイクを受け取る。

1. 車椅子の使用方法的説明、防災グッズ（高齢者見守りキーホルダー、OSI）の説明（10分）さわやかサポート久が原  
防災資機材（車いす1台、リヤカー1台）の取扱、使用方法的説明。

※予め防災資機材（車いす1台、リヤカー1台、担架1台）を本部前に展示、配備しておく。

担架はブルーシートの上に展示する。

↓

2. 本部長と民生委員が本部テントの中に集合。又、救出・救護の責任者も本部前に集合。 本部長が民生委員に「地図を確認し、安否確認を行ってください。」と要請する。

↓

3. 本部長から「救出・救護の責任者」に対して、1～2分の間隔（時間差）で、次の①②の順番で出動要請を行う。

※各班の出動に際しては、さわやかサポート久が原の担当者が付き添い、同行する。

※各班の出動中、それぞれの活動内容について田園調布消防署署員から解説していただく。

↓

- ① 車椅子第1班が出動する。～次表参照

↓

- ② リヤカー第2班が出動する。～次表参照

↓

4. 車椅子（第1班）、リヤカー（第2班）が本部テント前の一時避難所に戻ってくる。

※使用した車椅子、リヤカーは、そのまま本部テント前に留め置き、展示する。

↓

5. 担架の組み立て方および担架での救護方法についてダミー人形を使用し説明する。～説明者：田園調布消防署久が原出張所署長

↓

6. （時間があれば、 副会長から「仮想傷病者」及び「救出・救護の責任者」に感想等をインタビューする。）

↓

7. 訓練終了。進行は 副会長から、 副会長（安全防災部長）に対してバトンタッチ。マイクをお返しする。

〈次表〉

救出・救護責任者及び仮想傷病者と対応方法等

班	救出・救護責任者	使用機材	仮想傷病者	対応方法	傷病者待機場所	搬送先
1		車椅子		一旦、安否確認をしてから本部に戻る。 再度、車椅子を持って救護に向かう。	公園階段下	一時避難場 (本部テント前)
2		リヤカー		一旦、様子を見に行ってから本部に戻る。 再度、リヤカーを持って救護に向かう。	駐車場	// ( // )

[注意事項]

- (1) 救出・救護者、仮想傷病者は予め依頼しておく。
- (2) 役員、民生委員は腕章で、一般の参加住民との違いを明確にしておく。
- (3) 仮想傷病者を救護活動中、役員及び民生委員は積極的に「誰か手を貸してください」と住民に声をかけ、協力を求める。

以上

# 訓練会場見取り図

消防団

消火隊

ミニポンプ

③

起震車

◎ 参加者は3班に分かれ①～③を10分間のローテーションで回り、  
AEDを用いた救命手当では全員で30分間行う。

久が原南自治会館  
(雨天時の会場)

駐車場

煙体験機

本部

要援護者対応訓練  
本部・避難場所  
119番通報

机2・ビニールシート

開会式

●  
トイレ

②

初期消火

●  
水飲み場

AED  
救命手当訓練

ビニールシート大1

キーホルダーの  
登録受付

机1

炊き出し  
配給

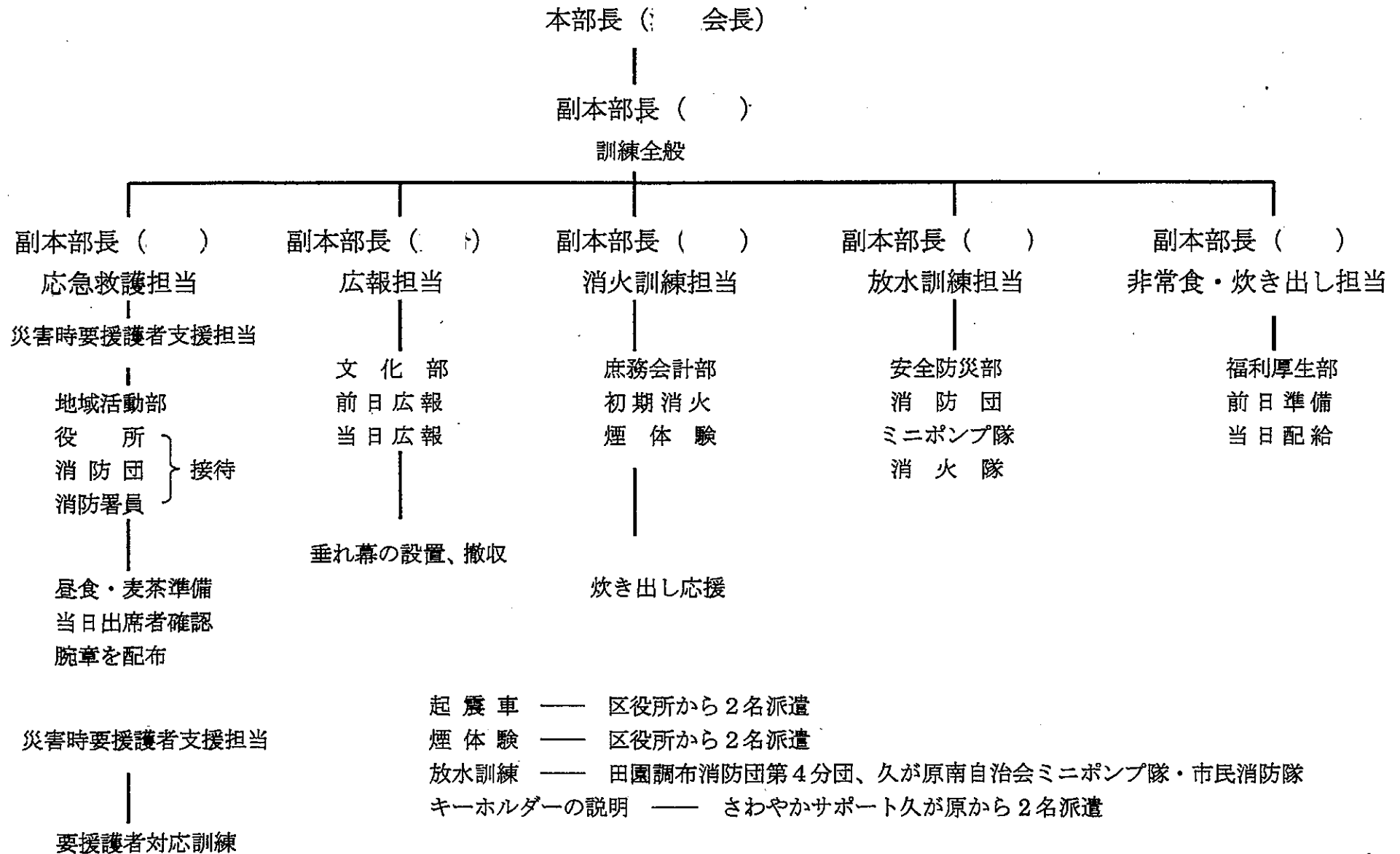
机1

●  
放送塔

●  
十中生の荷物置き  
(ブルーシート)

砂場

# 防災訓練組織図及び役割分担



## 今後の日程等

- 理事会の承認を得る。
- 回覧とポスターでPR:ポスターは届きしだい理事にポスティング
- 決定事項を区役所、消防署、消防団へ連絡する。また大森十中への参加依頼を行う。
- 今後、必要に応じて打合わせを行う。また本部長、副本部長の連絡を密にする。
- 部内の打合わせは担当副本部長が責任を持って行い、当日に支障がないようにする。
- 非常食(クラッカー)、防災グッズの袋つめは、7月4日(土)13時から副本部長他で会館にて行う。

### (当日の準備)

- 訓練当日の集合時間 役員8:00 理事8:30
- 雨の場合の変更事項決定時間は7:30とする。
- 時期的に、暑さ対策として、麦茶を多めに3箇所(公園、事務所、消防団待機場所)に用意する
- 炊き出し用のアルファ化米はお湯を注ぐと出来上がるので、お湯を沸かしておく。